

2014年11月16日、未来を大きく左右する沖縄県知事選挙

朝日新聞・沖縄タイムス・琉球新報三八広告予定

## 『これが沖縄の生きる道』

仲村清司・宮台真司 著

仲村清司

1958年、大阪市生まれの沖縄人2世。  
作家・沖縄大学非常勤講師。96年に沖  
縄県那覇市に移住。著書に『本音で語る  
沖縄史』『本音の沖縄問題』など多数。

宮台真司

1959年、宮城県生まれ。首都大学東京  
教授・社会学者。社会システム理論、映  
画評論、サブカルチャー、性愛論まで対  
象は幅広い。著書に『私たちはどこから  
来て、どこへ行くのか』など多数。

沖縄から「民主主義」の条件を  
ラディカルに問い直し、  
自立へのアクションプログラムを提示する、  
白熱討論の記録!

迷える本土に引きずられるな!



## 【収録内容】(予定)

## 第1章 沖縄の両義性——「明るい沖縄」と「暗い沖縄」

「明るい沖縄」と「暗い沖縄」／故郷喪失者の愛憎／政治・文化としての沖縄／自律的依存と他律的依存／具体的な跡地利用計画を／沖縄のショッピングモライゼーション／街づくりと場の全体性／信仰と風土／琉球王国懐古としての独立論／しまくとぅばと公用語／歴史を語り継ぐ知恵としての島唄

## 第2章 多様な「われわれ」に向けて——運動論の再構築

「われわれ」による動員／「友／敵」概念とアイデンティティ・ポリティクス／ハンナ・アーレント問題と民主主義／沖縄の格差問題／「公」と「私」の相対性／民主主義の強化パーツ／条件闘争と陣地戦／普天間の「新設」問題と海兵隊／基地がなくても回る島をどう取り戻すか

## 第3章 これが沖縄の生きる道——〈恨みベース〉から〈希望ベース〉の未来構想へ

沖縄の若者の政治意識／複雑な知恵をどう伝承するか／構造的貧困に抗う知恵／若者の閉塞感と「右傾化」／基地反対運動から街作り運動へ／第六次産業化とスローフード／バリュー投資と伝統工芸／食育とベーシック・バリューの共有／沖縄のジェンダー問題／迷える本土に引きずられるな

## 第4章 国境に生きる人々の知恵——沖縄戦の悲劇を繰り返すな

基地返還アクションプログラムと国際都市形成構想を再考する／熟議民主主義とファシリテーター／蔡温の文章主義／知事選とオール沖縄を考える／尖閣問題と安全保障論／国境に生きる人の知恵／沖縄の不幸な歴史を繰り返すな

FAX 03-5280-0263 TEL 03-5280-0261

2014年9月刊行予定!

注文書

貴店印

ご担当者名

様

ご注文数

冊

これが沖縄の生きる道

仲村清司・宮台真司 著

978-4-7505-1415-4 C0030

四六並製 予価:本体価格1,600円+税